

宮城県感染症発生動向調査情報

令和元年10月24日発行

2019.10.14～2019.10.20 ー第42週ー

1. 集計

上段は患者発生数、下段は定点当たり

疾 病	保 健 所							仙台市	宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第39週	第40週	第41週	第42週
水痘	6 1.50		4 0.80			2 0.40	2 1.00	5 0.19	19 0.33	1,148				
流行性耳下腺炎								6 0.22	6 0.10	225				
感染性胃腸炎	6 1.50	17 1.70	2 0.40	9 4.50	5 1.67	21 4.20		69 2.56	129 2.22	11,886	◎	◎	◎	◎
手足口病	13 3.25	8 0.80	21 4.20	2 1.00	24 8.00	10 2.00	1 0.50	54 2.00	133 2.29	9,777	◎	◎	◎	◎
伝染性紅斑	5 1.25	1 0.10	2 0.40	6 3.00		2 0.40		4 0.15	20 0.34	2,902		○	○	レ
突発性発しん		4 0.40	1 0.20	2 1.00	2 0.67	3 0.60		10 0.37	22 0.38	1,186	レ	○	○	レ
ヘルパンギーナ			5 1.00		4 1.33			5 0.19	14 0.24	1,433	レ	レ	○	レ
インフルエンザ	1 0.14	1 0.07				1 0.13	1 0.25	22 0.50	26 0.28	30,718	◎	○	○	○
咽頭結膜熱		3 0.30		2 1.00	6 2.00	3 0.60		16 0.59	30 0.52	736		○	○	○
流行性角結膜炎	2 2.00							3 0.50	5 0.42	161				
急性出血性結膜炎									0 0.00	4				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	46 11.50	26 2.60	3 0.60		5 1.67	27 5.40		70 2.59	177 3.05	7,332	◎	◎	◎	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)									0 0.00	4				
無菌性髄膜炎									0 0.00	3				
マイコプラズマ肺炎		1 1.00		2 2.00			2 2.00	1 0.20	6 0.50	176				
クラミジア肺炎(オウム病は除く)									0 0.00	0				
RSウイルス感染症	7 1.75	6 0.60	4 0.80	1 0.50	4 1.33	2 0.40	10 5.00	26 0.96	60 1.03	2,267	◎	◎	◎	◎
感染性胃腸炎(ロタウイルス)								2 0.40	2 0.17	34				
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2	2				4	1		◎:流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○:発生または流行について、今後の情報に留意 レ:発生が少なくなっている傾向			
	川崎病													
	不明発しん症								9					

※今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む機関定点報告) 3例

2. 全数報告疾病

1類感染症: 報告なし

2類感染症: 結核(患者(確定例))

塩釜管内 男性1名, 女性1名
大崎管内 男性1名(第40週)
石巻管内 男性1名
仙台管内 女性1名
結核(無症状病原体保有者)
塩釜管内 男性1名, 女性1名
大崎管内 女性1名(第39週), 女性2名(第40週)
仙台管内 男性1名, 女性1名

3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症(O26)

石巻管内 女児4名*
腸管出血性大腸菌感染症(O111)
大崎管内 女性1名(第40週)
腸管出血性大腸菌感染症(O121)
仙台管内 女性1名
腸管出血性大腸菌感染症(O型不明)
仙台管内 女性1名

4類感染症: デング熱(推定感染地域:国外)

仙台管内 女性1名
レジオネラ症
仙台管内 男性1名

5類感染症: 急性脳炎

仙台管内 女児1名*
侵襲性肺炎球菌感染症
仙台管内 男性1名
百日咳
石巻管内 男性1名
仙台管内 女児1名(第41週)*

※ 女児は6歳未満

4. 今週のコメント

【腸管出血性大腸菌感染症】

ペロ毒素を産生する大腸菌による感染症で、O157, O26などの血清型が代表的です。無症状の場合もありますが、主な症状は腹痛・下痢・血便です。また、感染後に溶血性尿毒症症候群(HUS)を引き起こして死亡する例もあります。県内では今週7例の患者報告があり、患者の発生が続いています。腸管出血性大腸菌は少量の菌数(50個程度)でも感染が成立し、特に、低年齢の小児は感染とその後のHUS発症のリスクが高いため注意が必要です。手指・調理器具の清潔や食品の十分な加熱など、食品の取り扱いに注意するとともに、手洗い励行などの予防対策に努めてください。

3. 宮城県感染症対策委員会情報解析部会

【定点把握対象疾患】

【水痘】

気仙沼管内で警報レベルを継続中です。
仙南管内で注意報レベルを超えました。

【手足口病】

仙南, 大崎, 登米管内で警報レベルを継続中です。

【伝染性紅斑】

仙南, 栗原管内で警報レベルを継続中です。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

仙南管内で警報レベルを継続中です。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

インフルエンザ患者より

気仙沼管内 第41週採取分 インフルエンザウイルスAH1pdm09 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	確 定	中 間 報 告	
	第39週採取分 (9.23～9.29)	第40週採取分 (9.30～10.6)	第41週採取分 (10.7～10.13)
RSウイルス	5件	0件	5件
アデノウイルス	2件	1件	0件
ライノウイルス	3件	0件	0件
サイトメガロウイルス	0件	1件	0件

★RSウイルスが継続して分離されています。

宮城県保健環境センター(宮城県結核・感染症情報センター)

電話 022-257-7228 FAX 022-256-3362

HPアドレス: <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/hokans//kansan-center.html>

宮城県定点週報告対象疾病の推移

